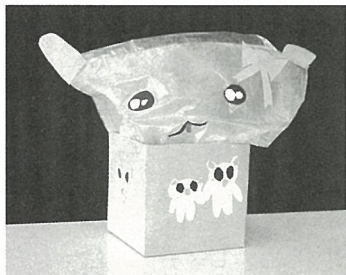




1年 大木 梓歩さん



『ニヨキニヨキ、あれれ』

※色の組み合わせを
考えて、きれいな色で作りま
した。袋のつさ
ぎが上手にでき
ました。



2年 並木 夢美さん



『いもほりをやったよ』

※大きないもが
ほれてよかつ
たです。いも
の色とぶくが
よくかけまし
た。



3年 落合 晶子さん

三年 力

サ落合晶子

『力』

※三年生になっ
て初めて習字
を習いました。
半紙のまん中
に力強く書け
ました。

あつまれみんなの力作



『ふしぎの国の動物園』



4年 加瀬 愛里さん

※よく見るとタ
コ、ヘビ、キ
リン、カタツ
ムリなどたく
さんの動物が
見えます。



5年 松村 智晴さん

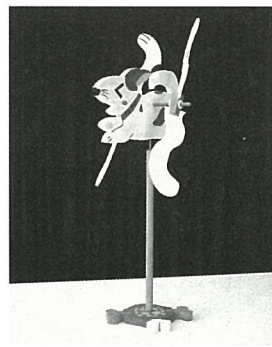


『さくらのカレンダー』

※さくらの花び
らを細かく切
ったり、バラ
ンスよくはっ
たりするのが
大変でした。



6年 大木 美歩さん



『動くぞ 動くぞ』

※風が吹くと、ク
ルクル回るワイ
ンドミルを作り
ました。土台や
足の形を切るの
が大変でした。

ひかり俳壇



蕉翁の句碑にたたずむ夕時雨

布施 和代 (二又)

陰曆十月十二日の時雨忌は松尾芭蕉の忌日である。作者は芭蕉の句碑にぬかずいたとき夕時雨に遭う

友と来て別るる巷夕時雨

越川せつ子 (篠本)

久しぶりで会った友と四方山話しをしながら別れる街に入ると夕時雨に遭い話題は尽きない

秋天の空より園児スベリ台

大木 素風 (二又)

蒼天から園児等がスベリ落ちていと見た作者の感覚・眼力は優れている

時雨るるや島から島へ瀬戸の海

川島 通則 (二又)

九谷焼墓の茶碗に時雨来る

川島 孝夫 (二又)

晩秋の病棟染める落暉かな

土屋 義昭 (虫生)

残り花切りて集めて墓参り

越川 福子 (宮内)

対岸に照りふり分つ時雨かな

伊藤 定男 (尾垂)

短評

椎名しげる

評者吟
山里の二又集落時雨るるらし